

2017年度第4回例会
「日本在住の外国人家族との交流会」

桃の節句を迎え、ちらほらと春を感じられる季節となった3月4日。今年度4回目の例会は「日本在住の外国人家族との交流会」として、パキスタン、ベトナム、中国から来られたご家族を招いて日本での子育て事情や自国との違い等についてお話を伺いました。



会の最初は松田支部長による体操、リトミック。想像力を使って子供たちと一緒に空に舞う蝶を捕まえたり、お花を摘んだりと会員たちも少女に帰りました。最初は恥ずかしがっていた様子でしたが、「あっちかな？こっちかな？」と探しているうちに引き込まれ、目を輝かせて無心に。会場が一気に明るくなり自然と心もほぐれました。



体操の後はゲストを囲んで座談会。お忙しい中お子さん連れでご参加くださいました。

パキスタン人 在日5年
夫(パキスタン人)、子供2人

ベトナム人 在日3年半
夫(ベトナム人)、子供2人

中国人 在日7年
夫(日本人)、子供1人

皆さん現在子育て中で、最大の関心はやはり子供たちの周りの環境。特に保育園幼稚園選びはご苦労された様子で、入園はできたが園選びでは選択肢が少なかったとの事。そしてもう一つは家庭での問題。日本人と同じく周り(親や家族)のサポートが無く苦労をしている様でした。その他食事、教育、医療の事など自国との違いをお話して頂きましたが、総じて皆さん日本は住みやすいと感じてくださっているようでした。

最後は木村会員による手遊びと歌で子供たちと一緒に楽しい時間を共有し閉会となりました。

4か国の子供たちが楽しく遊んでいる所を見て感じたのは子供に国境は無い事。各世代一緒に体操や手遊びをしている様子を見て感じたのは世代間交流の大切さ。縦軸、横軸ともに刺激を受けた有意義な時間でした。

